京城日報

○哈爾賓形勢益險惡

ホ將軍斷じて職を去らずと聲明す

哈爾賓の形勢は益々險惡を告げ來りたるが過激派に勢を制せられたる勞兵會は國權の完全たる代表者を以て自任し東清鐵道長官の免職並に地方行政の實權掌握を宣言しホルワット長官に迫り其一切の政權の讓渡を要求せるがホルワット長官は自己の選擧は露都本社の命令及び東清鐵道就業員同盟會の贊同を得ざれば決する能はずと拒絕し、勞兵會が武力に訴へて要求の貫徹を迫らざる限り自ら辭職すること無しと斷乎たる聲明をなし其の腹心の部下なる鐵道大隊亦長官援助を決議し過激派の領袖等をしてその答辯に窮せしめたるが三千名にも達すべき勞兵會に對し鐵道大隊及び外交團の援護及四千五百の支那兵との對立に於て[illegible]の場合[illegible]して其勝敗の何れに在るかは逆睹し難きも要するに權力爭奪の抗爭は今後益々紛糾し形勢彌が上にも不穩を告げ來るべし（哈爾賓特電）

○ホ將軍支那に縋る

革命軍事委員會東清鐵道占領計畫

革命軍事委員會は十九日を以て東清鐵道との關係を打切り愈々武力を以つて鐵道占領を企つ可き形勢を示せりホルワット將軍は支那に援助を求めたり（哈爾賓特電）

○哈爾賓出兵命令

北京政府は吉林黑龍江兩督軍に對し哈爾賓出兵を命令せり（北京電報）

○浦鹽市形勢平穩

浦鹽の形勢は平常に異る事無し日本軍は上陸し居らず又今日迄の處米國領事は未だ自國軍隊派遣の申出を爲さず尙當地に於ける米國の利益を保護する爲めには軍隊派遣の要なし（浦鹽電報）

○過激派對カ派爭鬪

南露西亞の各地に於て過激派對カレーヂン一派の間に爭鬪開始されたり（哈爾賓電報）

○休戰協定調印濟

露羅軍及中央同盟軍

十日獨公報はドニエステル河よりドナウ河口に亘る羅馬尼亞面露軍及び羅軍と中央同盟軍との休戰協定は調印を終れる旨を報せり（東京電報）

○單獨講和反對と打電

十二月一日ヴラゴウエチエンスク市にて沿黑龍江州內町村團體臨時大會開會され單獨講和反對の決議を爲し同時に各地に打電せり（哈爾賓電報）

○過激派政府と駐日大使

倫敦來電に曰く、露國過激派政府は駐日露國大使クルペンスキー氏を以て虛報を傳播し過激派政府に累を及ぼしたる者と爲し氏を革命裁判廷へ召喚す可く若し裁判を忌避するに於ては其の私有財產は沒收せらる可しと（東京特電）

○各督軍勢力維持に腐心

高橋代議士談

代議士高橋本吉氏は南支方面視察の歸途十九日午後六時半安東通過南行せるが其談に曰く「支那目下の情況は何人と雖も見込付かざる可く南北の關係は到底妥協行はれず亦討伐も爲す能はざる可く現狀維持で以て姑く經過する外無かる可きか兎に角兵を動かさば費用の支途に困難なる可し又兵を擁せざれば直ちに勢力失墜し彼の段一派の大立物たる孫文氏の今日に於けるが如くなる可ければ各督軍は自己の勢力維持に腐心の狀態なり南方の勢力は兵を擁せる陸[illegible]」

○五州鐵道と鈴木本店

神戶鈴木商店が南鮮に於て輕便鐵道の計畫あるを聞き神戶同商會の子會社[illegible]に之を質せしに左の如く語れり（神戶電話）
或る方面より鈴木商店京城支店長小田庄藏氏へ輕便鐵道企業を勸誘し來れるに依り同店以外の者之に加はり株式組織として引受くる事となりしなり内容に就きてはまだ詳細を知らず目下は棉花集散地の運輸に便せん爲めなるも工事は何時着手するや未定也同年中は六ヶ敷かる可し

○政務總監饗應

[illegible]政務總監は十九日午後四時より[illegible]官邸[illegible]各局長[illegible]を招待し[illegible]晚餐[illegible]したり

柴延氏に及ぶ者なく北方は段氏を輕視する能はざる可し（安東特電）

○醫師受驗特例

醫師試驗規則第一條に依り大正七年一月一日より京城醫學專門學校に於て醫師試驗を行ふ可き旨告示ありたるが同校の試驗に付ては朝鮮總督府醫院附屬醫學講習所[illegible]を以て受驗し得べきを以て四月十日迄に醫師試驗規則の[illegible]通り總督府[illegible]提出す可き[illegible]

○郵便切手

附帝紙

二十日各地に發送

二十一日より京城、釜山、元山、仁川、木浦、群山、大邱、平壤、鎭南浦、新義州の十郵便局にて發賣すべき新紙附特別郵便切手は十九日夜總府印刷所の印刷出來せしを以て遞信局にては二十日京城の外九郵便局[illegible]發送を了したるが各地に配達すべく二十一日より市場に流通を見るに至らん告示さる可し

○共通法規の制定

政府多年の立案審議＝來議會に提出

貴族院議員 河村讓三郎氏談

內外國交涉の私法關係又は刑法關係に付き本國法、住所地法等孰れを適用すべきかの問題を法の牴觸と稱し之れを解決する法規を國際私法又は國際刑法とす吾が國際私法的法規は明治三十一年法律第十號法例の外民法、商法、民事訴訟法等の中に存し國際刑法は刑法第一編第一章法例に之れを揭ぐ國內に數個の法域（獨立の立法を有する地域）存する時は其法域に涉れる民事、刑事に付甲法域の法律に從ふべきか乙法域の法律に據るべきかの問題を生ず是亦法の牴觸にして之を解決する法規を準國際私法、準國際刑法と稱し又洲際私法、洲際刑法と稱する者あり我國に於ては此法規は缺如せり法例に準據すべしと云ふ說には左袒することを得ず、我が新領土及借地に於ては內地の法律は當然行はれず委任命令（勅令又は律令）を以て私法の大部分及刑法は內地の法律に據ることを規定し同時に許多の除外例を規定せり除外例の主なるものは樺太の土人、臺灣の同島人、支那人、關東州の支那人の私法關係及び朝鮮人の能力、親族、相續は慣習に據り又臺灣、朝鮮、關東州の土地に關する權利は特に規定したるもの

▲問題を生ず

▲朝鮮關東州

の土地に關する[illegible]

一、甲法域に屬する者と乙法域の者との婚姻、縁組の手續き如何（即ち外國に於て爲す場合の手續きあり）

一、甲法域の者と乙法域の者との婚姻、縁組等の要件、效力等を爲す場合に於て其の準據法分明ならず且一方の家に入籍する者も他家より除籍する手續なし

一、甲法域に屬する者が乙法域に於て死亡したる時其の相續に關する準據法分明ならず

一、甲法域に屬する土地又は其の者の行爲の目的たる土地が乙法域に在る場合に於て其の土地に關する準據法分明ならず

一、內國人に住所を有せざる者に對し財產所在地に訴ふることは外國人に許さるゝに拘らず甲法域に屬する者が乙法域內の財產所在地に訴ふることは之を許さず

一、甲法域に屬する者の權利を失せり

一、甲法域に於て宣告せる破產の效力は乙法域に於て爲したる同一の者に對する財產の上に於ては及ばず甲法域に於て宣告せる破產の效力は乙法域に在る財產には及ばざる

一、乙法域に於て設立したる法人が甲法域に於て其の法人たることを得ず

一、甲法域の法人、會社の地位に付ては別に規定なきを以て他の法域の會社に比し外國の法人、會社の地位に比し不利なり

一、甲法域に於て營業所を有する者は、乙法域に於ては特別規定を設けたれども[illegible]めず從つて其代表者の行爲を無效とすることを得ず又朝鮮、支那に於ける外國會社に關する[illegible]

外國裁判所の判決は內國に於て執行することを得れども甲法域の判決は乙法域に於て執行することを得ず

一、甲法域に於て重大なる犯罪を犯したる者が乙法域に逃るゝ時は之を處罰することを得ず（外國に於て犯罪を犯したる者は內國に於て處罰することを得）

一、甲法域に於て[illegible]處罰せられたる者も乙法域に於ける[illegible]處罰を[illegible]

[illegible]外國裁判所に依るものとし何等[illegible]朝鮮に於ては特に刑法を定め民の法律と一致すれども[illegible]內地の法律に依る[illegible]

▲同化の上に

影響を及ぼす[illegible]此等の問題は[illegible]當局者の[illegible]

[illegible]法域に於て爲したる行爲の準據法を[illegible]

[illegible]問題にして此問題は今や[illegible]

▲必要を認め

立案審議に[illegible]關係各部局の交涉亦容易ならざるものありて遷延今日に及びて漸く成案を得て來議會に提出すべしと傳ふ吾人は該法案が世人の期待に對し十分なる滿足を與へんことを希望するもの也（東京）

○紙組合增資

[illegible]

○歲末の朝鮮財界

未曾有の好況狀態にあり

阿部鮮銀營業局長の談

歲末に於ける朝鮮財界の概況に付阿部鮮銀營業局長は曰く「本年の朝鮮財界は未曾有の好調に經過し來れり（一）朝鮮に於ける下半期の經濟界は米穀の騰貴に伴ひ棉作者の收入多く（二）朝鮮移出品の大宗たる米價は依然として好況を持續し五割內外の騰貴を示し（三）朝鮮移入重要品は綿布、其他に於て好況を持續し年末に入りて頗る好況なり（四）糸の値を持し移出は頗る多く十七年に比し五割內外の增加を示し（五）新事業の勃興は[illegible]

[illegible]

○段任命權限影響

段祺瑞氏の參戰督辦任命は過日馮總統と會見の結果にして其の任務は佛國兵の出兵に關する戰時事務一切を取扱ふのみならず支那宣戰布告に依りて生じたる戰時事務一切を取扱ふにあり其の權限は極めて大なり段芝貴氏の陸軍總長任命と共に段祺瑞氏の復活は內政上にも重大なる影響を與ふ可し（北京特電）

○李調停中止打電

李純氏は十八日馮總統に宛て南北調停の任に當り難しと打電し來れり多分曹錕、張懷芝兩氏に出兵を命じたるより不平の念を抱きたるが爲なる可し（北京特電）

○米國潛航艇衝突

米國潛航艇エフ第一號とエフ第二號は米國領海にて衝突しエフ第一號は沈沒し乘組員十九名溺死せり（華盛頓電報）

○再選結果

千葉縣代議士再選擧の結果當選者左の如し（東京特電）

▲磯野敬（政友）▲鈴木久次郎（憲政）▲土屋清三郎（新政）▲津田毅一（新政）

○內藤博士講演

[illegible]內藤湖南博士は二十日午後四時より京城俱樂部に於て講演を爲す[illegible]

○マ氏政務總監訪問

八日入京したる在東京米國大使館書記官マクマレー氏は十九日午後三時三十分在京城米國領事代理の案內にて總督府に山縣政務總監を非公式に訪問し入京の挨拶を爲したり

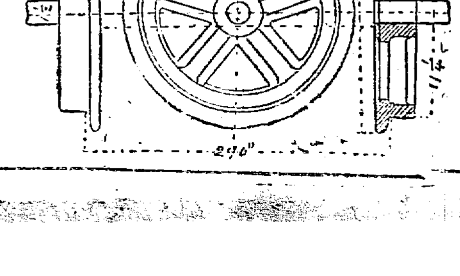
人事消息

▲小濱元司氏（鎭南浦稅關支署長）十九日入京
▲[illegible]警務部長 十九日午後仁川へ
▲石垣幸次氏（釜山郵便局長）二十日午後釜山へ
▲李軫鎬氏（全北道長官）二十日午前赴任
▲横井實治氏（土木局仁川出張所技師）[illegible]
▲高橋本吉氏 十九日入京朝鮮ホテルへ
▲內藤文學博士 十九日夜入京天眞樓へ

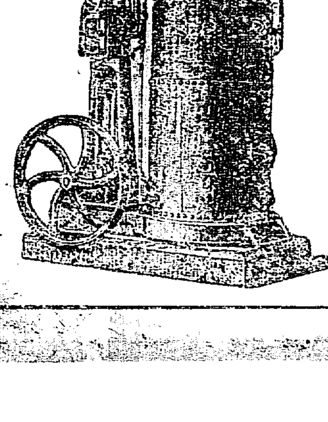
年末支拂＝廿六日限

年末支拂例年の通り廿六日午後四時より六時迄 普通支拂は例の通毎月十日午後五時より六時半迄

製作在庫品目
汽罐
汽機
鐵管 八時以下
土工用 車輪
鑛山用
押上ポンプ



在庫豐富



販賣部京城南大門通五（電話一〇四番）製作工場岡崎町 電二六六
中根商會

▼勸業債券販賣者募集▲
▲代理店、支部長、單獨販賣員、月收卅圓以上、希望者は[illegible]
▲當商會は一般辨分に定計あり、又確實なる生ける[illegible]
▲募集材料極めて豐富、全國樞要の地に販賣店數多あり
東京麴町 聯合商會債券部 振替東京三三八五 本局三五六四、四四一七

歲暮良好の贈答品は島屋發賣の漬物類に限る

島屋製 奈良漬 元詰合 自四十錢 至三圓五十錢
岐阜名產 守口漬 各種詰 自二十錢 至四圓五十錢
靜岡名產 山葵漬 各種詰 自二十錢 至二圓
京都名產 千枚漬 各種樽詰 自五十錢 至二圓

○市內信用ある食料雜貨店にて販賣す最寄の御店で御買求め下さい近來模造品が多數ありますので御買上の際は島屋に御注意下さい
○御用命の際は電話九〇三番へ御掛け下さい

京城北米倉町 島屋本店販賣部

十二月二十日發行

◇露國副領事概いて語るらく◇
強盗に押入られた露國
レーニン一派の政府を認めぬ一般國民の露西亜◆◆外債の踏倒しなど能き得る事でない◆◆經費の仕送があつても受取らない

露國紛糾の謂ふ眞洞の一角につくねんと立つてゐる淋しい露西亜副領事館、屋上に飜へる鷲印の三色旗は有りし昔を偲ぶ様な、露西亜式の二重窓から強く射入る眩しい光線を面に受けて多忙のした荒れた庭園を眺めつゝ淋しく吐息を漏す在京露西亜副領事マリニン氏

露國の前途は雲か霞か果は雨か、懇ろに往訪記者を迎へて『我國の現今の狀態は全く武器を持つ強盗に押入られてゐる様なもので言はゞレーニンといふ者がその強盗の頭の様な者です、ですから吾々は彼等の一團を相當な政府とは認め難い又彼等が如何に暴力を振ふとは云へども露西亜國は一般吾な國民の國家にして決して彼等

強盗團の國家ではありません。彼等レーニン派は始めには土地均配、階級打破といふ甘言を以て無智曖昧なる勞働者や國民の列から外れたる逃走兵を操つて政府を顛覆したもの、我々二億に近き國民が何時迄も彼等一派の横暴を默認する事は出來ません。個人と國家が果して如何なる關係に結び付けられてゐる事も知らずたゞ狂者の如く荒れ狂ふ

低級の勞働者や脱走兵はイザ知らず少しなりとも國民としての自覺があり愛國心のある者は彼等の亡國的態度を唾罵せざる者はありません。彼の一派のやり方を御覧なさい個人と個人との間にさへ債權債務の關係を明かにせねばならぬものを況して一國家として外債廢棄だなどゝいふ事が出來得るものでせうか？之はまるで

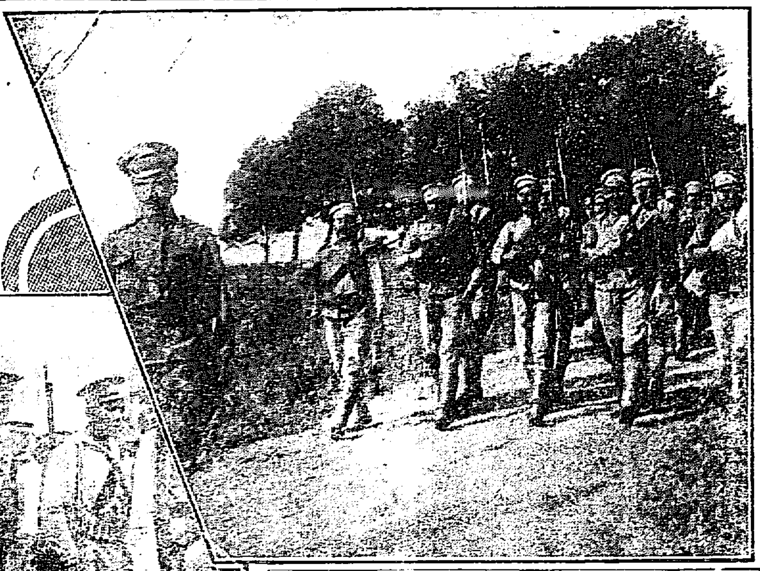
向ふ見ずの狂者か泥棒のやる様な事で第一列國が認める筈がないではありませんか、あの狡猾な獨逸ばそれに附け込んで單獨講和をやるとか又その一派をダシに使つて色々擾亂を起す様であるけれどもそれは主のない空家で盗みに來た泥棒と契約をする様なものでそれが何の効力がありませう」と横暴無道なるレーニン政府を罵つて露西亜は

露西亜全國民の國にして獨りレーニン一派の國にあらざる事を主張して愛國の情抑へがたく全身慄へるを覺ゆる様であつた氏は更に語を續けて『我々外國に駐在する大使、公使、領事は一般にレーニン政府を認めないのですから一切の經費を彼等から送りもしませんし又我等の方から受取りもしません。唯に支那に於ける露西亜領事館では

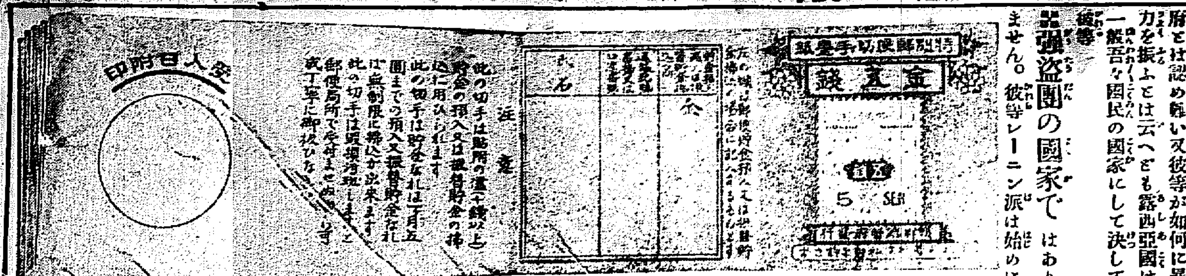
東清鐵道の收入を以て經費にあてがふといふ話もありますけれども此處では別にさういふ事はありません、彼等レーニン政府よりの仕送りを仰がなくとも我々露西亜全國民の代表として公使館や領事館の經費位は何處からでも出ます……この頃新聞で見るとやれカレジン將軍が捕縛されたのや廢帝が逃亡されたのといふけれ共も本當の様に思はれません。カレジン將軍の部下には數十萬の精練された兵士がゐて何時も彼を守つて居りますから決してさう容易く捕縛される事はない又廢帝にしても中々さう單身で逃亡を企てる様な事はありますまい。それは恐らく風説でせう』とカレジン將軍の捕縛説や

廢帝の逃亡説を否認する『我國の現狀は丁度支那の狀態と同じでこれから先き又如何なる變動が起るかは一寸豫測し兼ねますれども廢帝のニコライ家の者が復た帝位に即く様な事はないだらうと思ふ、兎に角今は全く混沌狀態で一日後の事が解りません、しかし長くない内に彼等レーニン政府は覆され

新らしい光明が見ゆるでせう。御承知でもありませうが昔し露西亜に於ける韃靼の勢力は今のレーニン一派の幾層倍であつたか知れません、その當時は皆がロシヤ帝國は全く韃靼の手に支配されると思つたでせう。けれども今の韃靼人を御覧なさい、ところかまるで案山子の様なものではありませんか、ロシヤを守る神様は決して我々を御見棄てにはなりません」



哈爾賓に於ける露兵と支那兵



◇小錢代用の臺紙附郵便切手

總督府で發行する小錢代用の臺紙附郵便切手は十九日夜臺紙多數の印刷が龍山の印刷所から出來て來たので同夜は殆んど徹夜をなし遞信局計理課員多數は五錢切手を貼つた、何でも

◆二十枚に一枚宛切手を貼りそれを一應檢査する手間は一寸五分を要するやうである、

◆二十日郵遞信局では新義州元山群山木浦平壤鎭南浦釜山大邱仁川の各郵便局へ小包で配送した而して二十一日より以上の局に京城を加へた十郵便局で賣出す事となつた現品は寫眞の通りで

◆紙質は強く一見伸々モチがよさそうだ、又之れを一々に切る時は成るべく根本の方を指で挾んで切るがよい、でないと切手面がよごれたりせぬとも限られ、當局では今後一般の需要により幾千でも印刷すると云つてゐる、補助貨不足の緩和には力があるであらう

◎危うかりし行嚢金四千六百圓
憲兵補助員奮闘して奪ひ還す

十二月十八日午前二時三十分頃忠南鴻山郵便局より舒川郵便局に向け郵便行嚢を遞送夫一名と憲兵補助員一名とが護送しつゝ鴻山より約十五町計り進みたる際突然物蔭より三名の朝鮮人強盗現はれ各自棍棒を以て兩名に打つて蒐り激しく格闘せしも遂に現金四千六百圓及び書留二通封入しある件の行嚢を強奪されて曲者は逃走したり此の時補助員は頭部を強打されながらも屈せず拔劍して賊徒を追跡し遂に追ひ縋りたる爲め賊は一應強奪したる行嚢を其場に遺棄して逃亡したり之れが爲め行嚢には何等被害なかりしが賊徒は引續き行衛を嚴探中なりと

◎甲山銅山火災
石油罐爆發から

咸南甲山郡銅店里久原銅山の揚用機關汽器を備へ付けある建物より十二月十六日午前十一時四十分頃發火し一棟を全燒して午後零時四十分頃鎭火せり原因は運轉室の煖爐にて電線包裝用のニスを石油罐に溶解したる際火がそれに引火して轟然石油罐を爆發し火氣散亂するに至りて遂に大事に及べる由にて損害は目下取調べ中なるが意外に多額なるべしと

◎タチアナ姫と傳へられたのは
銀行頭取の令孃

タチアナ姫と傳へられたる露國紳士令孃の旅行者は十九日午後八時半東京驛に來着したるが右は國際商業銀行頭取令孃（一八）にてタチアナ姫に非ざる事判明したり（東京特電）

◎鹿兒嶋縣大火

十八日午後鹿兒島縣大島郡名瀬村浦上井口米編方より出火し十九戸百五棟を燒失外各種建物百三十一棟を烏有に歸せり（鹿兒島電報）

◎銀行重役拘引

周防銀行常務長谷川豐能取締役大塚重雄は今般令狀を執行されたるが同銀行休業事件ならん（山口電報）

◎炭坑家取調べを受く

福岡地方裁判所の檢事は同縣の炭坑家中野徳次郎、藏内治郎作、伊藤傳右衛門氏子息金次郎氏等を取調べ藏内家の番頭三名は令狀を執行されたり（福岡電報）

◎大猪を射止む

城津與地に大虎を現したる虎狩隊の内雲徳の一隊は本月五日より咸南安邊郡下に出獵せしが其結果二百斤の大猪を手初めに外數頭の獲物ありし

◎親子を水銀で燻し殺す

慶南金海郡左分面北内里申永均妻朴姓女は豫て梅毒症にて咽喉部を痛め居れるより之れを治療せんと東萊郡左耳面龜浦里朴永天（三）に依頼したるに永天は朴姓女方に赴き十二月二日より四日迄朴姓女及び長男申長守（一〇）次男申長福（一〇）の三名を一室に集め扉を密閉したる上火鉢に炭火を起しそれに多量の水銀を燃やして瓦斯を發散させ其の瓦斯を圓筒に集めて患者に吸入せしめたるに忽ち中毒を起して朴姓女及び長男の兩名は遂に絶命し次男も生命危篤に陷り居ることを金海憲兵分遣所にて探知し直ちに朴永天を逮捕し取調べの上檢事局へ送れり

燈頃し

私立進明女子高等普通學校では過般東京附近に於ける大暴風雨の慘狀を生徒に訓話した處が生徒一同は感激して被害各學校に對して慰問狀を認めたいところから之に對する府廳各學校生徒の慰問狀が續々到達し中には圖畫習字等を認めて送つて來た▲昌慶苑は博物動物園及び植物園全部の觀覽料が一人五錢であるから先づ高くも無い方であらう▲尤も十歳以下の小兒は半額で特別本館の觀覽料は中で別に五錢づゝ徴收してゐるが去りとて一年一萬圓の收入を得ることは至難であつて一方其の經費は現在收入では動物の食費にすら足りないので値上をしても好さそうなものだが所が中々さうは行かぬ▲といふのは實際今日の下層鮮人の程度から云へば五錢といふ金は大金であつて夫れが證據には十錢で釣錢を取る人は甚だ尠くは銅貨で支拂ふものである

歳暮とクリスマスの贈物は
＝今年の流行＝

▲高野山の終り大師會　新町高野山……大師會……二十一日……

一日々々と押詰る歳の暮の氣分が街々に漲つてゐる、試みに本町明治町の商店を覗いて見ると京城も以前は在留外人の中の雰圍氣……[illegible]……モカ内地人は勿論鮮人間にも……大盛んになつて來る様である……

▼ニコニコのサンタクロースのお爺さんが大きな袋を背負つて來て坊ちやん孃ちやんの枕許へ置いて行くお贈物に困みてお騒ぎのボンボン、クラッカーや沓下に入れた玩具

▼花やリボン　で綺麗に飾つたファンシーボックスや又たクリスマスの常盤木用には金銀モールや紙リボンなどが好く賣れるそれに今年は明治屋特製の膨つくりとして衞生的で滋養に富み御負けに飛切甘いといふ氣の利いたお菓子を賣出したので昨今盛んに賣れるとの事だ。

▼歳暮贈答品　としては世間の好景氣につれて案外高價の品が賣れ行きが良い、何分贈答品の條件としては價格は第二として先方に重寶がられるのが肝心である、洋酒類は

▼一般の家庭　で盛んに用ひられてゐるのは葡萄酒中でメドック、シャトーマーゴ（佛國製）で値段は一罎壹圓十五錢位から二圓五十錢まで、ズット上等の生葡萄酒になると十五圓位のまであるが、又た一本より六本迄の詰合は五十錢以上何圓にても調進きる

▼ウヰスキー　は英國製で黑白一罎二圓位から三圓二十五錢迄でポケットウヰスキーは六十五錢で同じくブランデーは同一圓以上十五圓まで其他酒類としては月桂冠の罎詰と大藏省醸造試驗所で吟醸のシャンパンの代用

▼沸騰酒　が正月用に喜ばれる尚明治屋では去る十五日より賣出しを開始してゐるが賞品券は一口一圓毎に抽籤券一本で賞品は一等女持金側時計、勸業債券、呉服券等である尚ほ同店の商品切手は東京大阪を始め各支店ともに通ずるから遠い所への贈り物には頗る便利であるとの事

◎船中で吐血

釜山西町二丁目曼城西村金次郎（四八）は十二日朝……丸にて……吐血をなし重態なりと

◎乞食燐の凍死

去る十六日夜大田本町二丁目市場附近に年齢四十……ものとのみにて原籍住所等不明の爲め十七日午後假埋葬に附したり（大田）

大阪期米

▲二十日後場　▲寄付

九圓九十四錢より一錢先六十九錢八十九錢四節九十八錢七錢八錢平と同事に寄付一錢と撥ね七十錢二均値段九十八錢節中襲らず先七十錢より六十五錢△先限一節十九圓六十九錢七十錢で落込み入錢と引返し三節に至り六十九錢七十錢一節七……

▲二十日後場　寄付　後場　二十日の二月限

商況

債券現物特電
東京公債直取引
東京期米特電
大阪株式特電
大阪三品特電
大阪期米特電
下關期米特電

雜報

◎綿布反動安
三銘十圓五十錢安
◎呼吸相場
◎露輸出の靴皮革
五千足内外の既成持品は約
賣掛金の回收難
調に物資の缺乏

下關相場
南大門の廻穀
市場雜觀

◎乾干魚は好況
◎正米頭打ち
ヤリ氣味市況ボン
◎朝來附値安の傾
◎木炭強持合
◎沙糖好賣行
當時大差なく本品は前年
迄に高値を切込む
三千俵を廻著一日

仁川正米
釜山穀物（十九日）

仁川期米
▲二十日前場（下避る）
▲第一節　兵庫二十一圓九十錢、大阪天候晴天　東京四十錢　兵庫八十九錢　東京三十七錢　兵庫八十一錢

勢の成行下避の裡に不

五錢の最高値に暴騰

今前場十九圓九十錢より五十錢暴落し二十圓を返して十九圓九十錢を以て納會り受渡高約三萬石に上る

◎當限納會

場の本領を發揮し　愈餅搗相場

安値に更に防戰買　支へる戻は見送る

仁川取引所　二十日の二月限

田中金兵衛商店

仁川米豆取引所仲買人　仲買店

確實（御案内）　迅速（御用命）

◇奉天城に屯する吾等の任務彌重し
奉天駐劄大隊の軍旗祭 ‖廿三日の午前九時半から‖

◇奉天駐劄の歩兵第廿六聯隊第一大隊にては來る廿三日盛大なる軍旗祭と初年兵の入隊式を行ふ。
◇入隊式は午前九時半から開始し勅諭奉讀に亞いで遼陽から出張した聯隊長の訓示がある筈。
◇さてまた光榮ある第廿六聯隊の軍旗祭は同じく午前十時半から開始、再び聯隊長の訓示があつて北海男子の君國に盡す覺悟を堅からしめ、此の時壯烈なる大隊の軍歌は營庭の寒空に堂々と高唱せられる筈。
◇次に餘興は營内將校集會所でとりどりの隱し藝よろしく、先づ第七師團はむかしの松前の本家本元をもつて兵隊さんお得意の『追分節』が試みられる、尺八の律呂歌調の餘韻、自慢ぢやないが天下一品で御座るとの前觸れあり。
◇更らに兵隊さんの落語、浪花節、琵琶歌から何れもアツと言はせる趣構忘りなし。
◇模擬戰は營庭内にて猛烈果敢なる雪合戰から白兵戰に移り、ポンポンとお手のものゝ發火演習もある。
◇かくて後此の日の祝宴は正午から開催、君が代の唱歌に大元帥陛下の萬歲を高唱して軍隊式の摩汁をすゝる筈。

奉天守備隊 伊藤歩兵少佐

◇光榮ある第廿六聯隊の軍旗について大隊長伊藤政之助少佐は語る

『聯隊の開祖は明治廿二年北海道札幌月寒兵營における一箇大隊の屯田隊であつた。
◇越えて卅三年十二月廿六日畏くも大元帥陛下より軍旗を賜はりこれが永世忘るべからざる榮ある我等の祝日となつた。
◇卅七年日露の役には聯隊は十一月十九日大連に上陸、乃木軍に加はつた、更らに月の下旬は旅順松樹山の肉彈戰、十一月廿八日から十二月六日までの二〇三高地、赤坂山の突撃には聯隊長吉田中佐を亡ひ聯隊の將校わづかに六名が生き殘つた。
◇更らに卅八年の三月九日には奉天北陵の大夜襲、光榮ある軍旗の功績は不朽に輝く。』
◇序で奉天守備隊の衛生狀態は頗る良好、今年の春來てから以來一人の病兵も無い、先日師團の軍醫部長殿が來て滿洲一むやさ褒めて行かしやつた……とは何より芽出度い。
◇モ一つ序に大隊の軍歌を御紹介申す。(奉天)

◇我が大隊◇

我等が屯す奉天は　遼金高句麗の昔より
英雄共の武を競ひし　要害堅固の都なり
西には遼河の流れあり　東に蔚なす山の嶺
山河の固め今も尚ほ　昔の事をも偲ばしむ
汝の仰ぐ大旗は　我が大君の御旗にて
我等が屯す奉天は　十有餘年の其昔
大和武夫の鋭良が　正義の劍に叉されて
砲煙彈雨の其中に　苦戰奮闘の古戰場
渾河の流れ今も尚ほ　吹き來る風は擬し
忠と勇とに此地を　地球の上に輝かせ
時維れ大正六つの年　大命直下に畏くも
滿蒙守備の任拜し　一萬有餘の兵が
胡地に屯する其中に　滿洲一の都なる
奉天城に屯する　我等の任務いや重し
國の光を立つる　世界不朽の帝國の
皇國の天職は　世界の平和を計るなり
忠勇義烈の旗の下　大國民の襟度もて
外つ國人に威を示し　我が同胞を護らんと
奉天城に屯する　我等が任務いや重し
國威と共に末長く　世界の上に輝くべし

◎素人に出來る 簡易なる工業
‖奥樣方のお慰にも好し‖

◆ジャムの原料 は朝鮮在來種の林檎が好いと云ふのは西洋リンゴ即ち苹果を原料にしては味が劣るから酸味を之に加味しなくてはならぬ。ソレ故苹果を原料にすると酒石酸乃至レモンの汁を入れる必要がある故に寧ろ在來産の小さい酸つぱい林檎が最も適當である、原料の朝鮮林檎は未熟のものと腐りかゝつてゐるものとを除き、完全なるもの許り能く水で洗つて埃を落し、ソレを煮立つた湯の中へ浸けるのである、之れは皮を剝くのに便利なる爲めであつて

◆林檎を六七分 間熱湯へ浸ける、出してから林檎の柄と尻の凹みさへ切取るときは面白い樣に指先で皮が剝けるからである、皮が剝けたら鍋に入れて焦付くのを防ぐ爲に少量の水を入れて煮るのである、但し皮を剝いたら手早く實を水に入れないと、赤味を帶びる虞れがあるから處理する時は、凡て水を用ゐるが好い、それから又鍋の中へ入れて目の荒い篩で潰し乍ら心を除き正味の儘許り取出して秤にかけ、其の重量の七八割に相當する白砂糖を加へて再び鍋で火を弱目にして煮詰めるのである。此の時

◆砂糖は決して 塊があつてはならぬ。さうすると砂糖が溶けるに隨つて段々嵩が増して來るから、今度は又ぞろ火を段々強くし、斷わず棒の樣なもので攪拌して焦付かない樣に努めるのである斯うして行くと追な中の埃が泡沫に著いて浮き上つてくるから、之を目の細い灰篩の樣なもので掬ひ取り、又た鍋の內側の上の方にドロ〳〵が附著くから常に濡布巾で拭取つて成可く清潔にする樣に仕上げるのである、それから追々煮詰るに隨つて段々

◆火力を減らし て行くと中のどろ〳〵は濃厚となり次第に滑かな澤を生じて來る、此る時は試みに少量を水の中へ落すと泥々に固つてモウ出來上つた時だから水の中へ沈むから其時火から鍋を下ろして初めて罐へ詰めるのである、煮詰る時間は三貫目に對して約二時間內外が限度である、之は小仕掛に小さな鍋ですれば奥樣方の御慰みにもなる、さうして今度は罐の事であるが何も罐詰に限つた事はなく罐詰でも何んでも好いのであるが昨今鐵力の相場が騰つてゐるので行るなら罐詰の方が割に付く事になる、猶ほ罐へ詰める前に罐を水から煮て消毒をなしジャムを詰めたら

◆輕く蓋をして 再び殺菌の爲に約十五分間程外から煮て今度は其蓋を密閉するのである、罐は螺旋口の物が最も好からうと思ふ。ゼリーの製法も同樣であつて林檎の皮を剝いたら水の中で薄く切つて鍋で煮るのである。猶ほ注意すべきはジャムもゼリーも煮る鍋の事であるが、之は鐵鍋は大禁物で酸が鐵と化合して獨り其の色澤のみならず甘品質までも害するから銅の鍍金の銅鍋に限ることを承知して貰ひたい。ゼリーを處理するのは灰篩杯では否けない極々目の細かい毛篩を用ゐ又た之を煮るのは

◆文火に限さる 而して今度は果實の量と同じ量の砂糖を入れて砂糖が溶けたら之も火を弱くし泡沫を掬ひ出すともジャムの時と同樣にする、斯して前記の如き度合で煮て果實がゼリーと化した時は火を引いて天竺木綿の樣な布で濾すのである、ゼリーは洋菓子の原料として廣く使用せらるものであるから其賣行は可成に多からうと思ふ之も罐詰にしたら煮沸して殺菌するのである。而してゼリーの殘滓はジャムの中へ混せて石を殖やしたら好からうと思ふ。

◎奉天の寒
十六日が一番寒かつた

奉天の今年の初冬は暖かい〳〵と喜ばれて割合に寒暖計は暖かくなかつた、氣溫の平均溫度は昨年に比して高くないばかりか寧ろ低い位のものであつた併し時候は怎うしても爭はれぬもの、此の十二三日頃からはだいぶ手厳しい寒さが襲來して何處の硝子戸も眞ッ白い氷がギラ〳〵と輝く。奉天西塔大街の觀測所ではこのごろの最も寒い最低溫度を毎日朝の五時前後にはかつて居るが十六日前後は毎日零下二〇度內外を上下する、併し今年の初冬に入つて最も寒かつたのは十六日の朝で、此の日は攝氏の氷點下二十六度二分、先づ近來の底冷ゑする寒い日であつた。奉天の最冬將軍は毎年一月から二月初旬にかけて來襲し例年の平均溫度が氷點下三〇度を上下する就中奉天觀測所創設以來のレコード破りは去ぬる明治四十年一月廿一日の氷點下三三度、二月の末からは寒い內にもヂリ〳〵と暖かくなつて來る元來奉天は近所に海のない大陸氣候の本家のやうな土地であるが、しかし長春や大連に比して割合に嚴冬の風が吹かぬ土地で場合によると大連よりも暖かに感ずることが稀らしくないその上土地の高さも海拔わずか四十米突、その邊も大に助かつて居る、併しつら寒さは却々の勢ひ、寒いと言はむよりも痛いといふ感じである、尤も身體にはさして害にもなるまいが唯だ凍傷の御用心肝要、野戰時代には神經が凍傷にかゝつてバッタリ遣れた人もあるといふ(奉天多奈部觀測所長談)

◎吉長線と滿鐵

愈々來一月より委託經營に移る

新借款協約に依り吉長鐵道は愈々來る一月より滿鐵會社に於て其の營業を委託經營する事となれるが吉長鐵道借款改訂中の一條件として借款償還期限內に在りては吉長鐵道營業を南滿鐵道に委託し支那政府より局長一名を置きて業務を監督せしめ日本人三名を選任し運輸會計工務の各主任とし內一名は南滿洲鐵道を代表して其職務を施行すと有るに依り今回滿鐵會社より吉長鐵道運輸主任に運輸課貨物主任村田愨麿氏任命せられ同氏は滿鐵會社の代表者として吉長鐵道に關する會社の權利義務を施行し會計主任には遼陽地方事務所次席和地永辰氏工務主任には大石橋保線主任丸山芳樹氏任命せられ近く夫れ〳〵出務赴任の筈なるが主任以下の邦人にして吉長鐵道に聘傭せらるべき職員は運輸主任赴任の上局長と打合せの上夫れ〳〵任命せらるゝ筈なるが其數は餘り多數に上らざるもの如し

◎長春 滿鐵附屬學校 新計畫多し

滿鐵會社の經營に成り夜學を專とせる長春補習學校は中學科(三年卒業)外國語科、露語、支那語(各六箇月一回)の現制度に於て既に相當の成績を舉げ居れるが近來の狀況としては外國語科に於ては前期既に本年四月開講九月閉講の一期間の露支各生徒數の割合が前學期の數に比し露語生徒の數に於て遙かに支那語生徒を超過し居たりしも、今回開講の本年十月開講の學期は俄かに反對の結果を示し是等科の目だ振はざるものあり、露近來の哈爾賓騷擾を始めとして露國全土の危機の當地住民に及ぼせし心理狀態が來せる結果ならんか斯くして同校は來年度より諸種の實用的科目を設くる計畫ありて第一には對支商業に關しては未だ多くの邦人が支那商業上の習慣に通せざるの不便を觀取し遲くも來年四月よりは此の支那商業慣習を知得せしむるの一新學科を開設し、更に支那商業地理の短期生を募り、又當地の如く日支露三國の勢力分野點に在る地勢より必要を生じて國際私法の概略を習得せしむるの科を起し、未定年徒弟の諸敎育問題に就きても現在の儘にては不備の點少からざれば此の點は現存せる長春青年勇團等と合併して充分積極的方法を講ずる由(長春)

◎文士學資 年末贈答用適品◆

長春より啓上

▲北京政府已に動搖し、南軍又大いに勢を以て押し寄せんとす、表面平靜を裝へる吉林も、孟督軍の暗中活躍頻りにして、奉天の張督軍又た間隙に乘じて東三省を手中に收めんとし、常に北京は四方の奔命に勞れ、形勢一刻も安んを許さざる狀態にある支那政府が哈爾賓の騷擾を見て俄に元氣を出し、支那兵によりて哈爾賓の治安を保たんと活動せるは面白し、內爲に最近何宗進、張宗昌の兩中將を特派なし孟督軍も長春に於て大會議を遂げ積極的哈市派兵を決議し、先づ兩中將の哈爾賓見物となりたるが暴行露兵に代るに支那兵を以て外人の生命財産を保護せんとするは大分問題あるに似たり確執常に絶ゆる事なく、今回の派兵に際しても同省の兵員を容易に動かす事は難事なるべし
▲近時長春の事業界は恰も補綴の硝子の夫れの如く瞬に續出するは主要發展の爲喜ぶべきも、然し餘りに度を過ぐれば反つて長春の發達を招く事なきを保せず、聞ち本年に入りて長春に於て起せられたる株式會社は、金澤紡績分工場、市場會社、運輸會社、長春銀行、長春實業銀行、煙草會社、錢鈔會社、等あり、附近木材會社に外一ッの株式會社將に起らんとす、人口五千の小都會にして三井、正金、朝鮮銀行、正隆銀行、小寺、湯淺、日清豆粕、日清燐寸、日本綿花、吉林燐寸、製粉會社、信託會社を除きたる土着の居住民の民力や如何、限りある資本を以て限りなき多くの事業に投ざれり、常に迴る會社の中心として居れ一も之れもに參與するは少しく考へものなるべし、小長春の事業家は將に此の後大いに警戒を要すべきにあらざるにや

白山黒水

▲奉天の氷滑り會はいよ〳〵十六日から開場した▲場所は新市街の滿鐵運動場の東方一千三百坪の廣場に鏡のやうな氷をはりつめて居る▲會員は小學校生徒三七〇人と中學堂生徒一三〇八、それに一〇〇人の雜多な人があつて毎日のやうに申し込みが增えて行く▲盛んに〳〵滑り給へ▲奉天の富籤は十五日の朝から小南關で開かれ電燈の灯に夕方まで騷いだ▲一等の當り籤五千圓は懷德縣の徵ヤ、二等の三千圓は奉天二十七師團の兵隊さん▲三等二千圓が田家の〇お役人、四等が一千圓で鳳城縣の住人▲當らぬ先生は「不殺本〳〵」さは面白い▲奉天の小學校では一部の生徒を地方事務所の三階で數へて居るが近く本校舍の方に引き移る筈▲尤も可愛い子供を三階の上まで追ひ上げなくとも新築校舍はとつくに出來上つてゐるはゐるけれどもまだ塗拔が不充分で何うすることも能きぬといふ▲早く生徒をトバンの苦しみから救ひたい……は酒落にもならぬ▲因に三階のあとにはお馴染の圖書館が引越す筈(奉天)

仁川期米

△二十日後場
大阪前止め安發案の入電に中十……
……持合ひとなり遂に入錢と打止たり……六十六錢土要六錢七錢八錢七錢入……
△後場當限納會
△中限一節十九圓九十四錢三錢一錢平均値段九十三錢二節九十一錢三節九十錢八十九錢八錢平均値段

仁川米豆取引所

……平均値段 一節十九圓六十八錢 二節十九圓六十五錢 三節十九圓六十八錢 四節十九圓六十……

……基隆下關に歸り途中吐血し十二日午後五時半下關に入港するや同地小林病院に收容されしも同人は肺病に罹り居り同病院にて多量の吐……

……死し居るを發見し其筋に屆け出たるを以て大田警察署及び大田……事務所より係吏員出張檢視をなしたるも時々大田附近に見掛けし……

……一等(一名)小林元司、二等(三十六名)……川手等、岩本市滅、金子萬吉、酒崎豊一、松村甚吉、中野宗太郎、片掛正吉、伊東九二郎、洪淳範、馬場外、菊地武雄、松井虎吉、岡たか、田村信明、岡正治、森忠藏、小宮高雄、大園展……王蘇茂、高子舟、陳浩如、下村助……忠誉……北浦ます、野津文平、今西實二、杉本與太郎、外八名(三等六十名)

醇良清酒
釀造發賣元 大阪府堺市 鳥塚源次郎
特約販賣店 京城本町一丁目 佐藤牧太郎 (電話長二九番)

胃病なら イの一番ホ
イカイ胃散
(各藥店にあり)

珍らしきおつかい物殊に內地への遺物として妙
金剛山 金剛飴 金剛糖 金剛羊羹 人蔘羊羹 栗羊羹
京城本町二丁目 龜屋 (電話二七、四七五番)

內外雜貨 冬物荷捌 近藤商店 釜山本町三丁目 電話長七六八番

釜山商店案內

鐵鋼材 浪板、平板 針金、洋釘 新田帯革總代理店
ペイント、油類一切 コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル 帶革、ロープ 機械、工具 其他附屬品
白神洋行

御用五十年 村上唯吉 實業手足 京城本町一丁目 高野義手足製作所 電話一〇六

富の道しるべ 京城日報社代理部

商業發行 卸問屋 洋酒 洋菓子 食料品 ミトヤ商店 釜山幸町

洋酒罐詰卸商 釜山長手通 あづまや商店 振替京城三九番

長岡商店

米穀調製器 收穫用器具 竹製消火器 販賣 南鮮發賣元 釜山本町 朝鮮勸農商會 地方特約店募集

雜貨卸問屋 大阪屋 治商店

籤引景品附
歲暮大賣出
十二月十二日より卅一日迄
歲暮贈答用最適品 高尚優美なる化粧箱入 ミツワキャラメル(限)
金五十錢毎に左の景品券一枚呈上 御便利上京城南大門外聯合大賣出景品と引換可申候 何卒御最寄の菓子店にて御買求下度奉願上候
一等 櫃箪笥 一棹 二等 白米一叺 三等 醬油一樽 四等 白砂糖一箱 等外 ミツワキャラメル
京城古市町 キャラメル ミツワ 商會

お歲暮には實用向の御進物は
◎樽詰 ◎箱詰 ◎上袋入 ◎砂糖切手
例年の通特別大勉強仕候間多少共御用命奉希上候
砂糖 麥粉 製菓原料 ミツワキャラメル販賣元
京城南大門通 電話一五〇七番 上田商店

有價證券現物問屋 開設
今回當地一流實業家各位の御後援と御勸めに依り誠實正直顧客各位の御便利を圖り御注文の誠意を盡して公債株券の賣買に從事仕候間御下命伏て奉願上候
大阪濱崎吉商店特約店
公債株券現物問屋 丸五商會
京城永樂町二丁目五番地(電話一四九八番) 有田長

此際送料無料 持壹圓六拾錢
オリバー萬年筆
文房具卸商 明盛堂
振替口座東京三八〇一〇番 東京市小石川區原町一四七

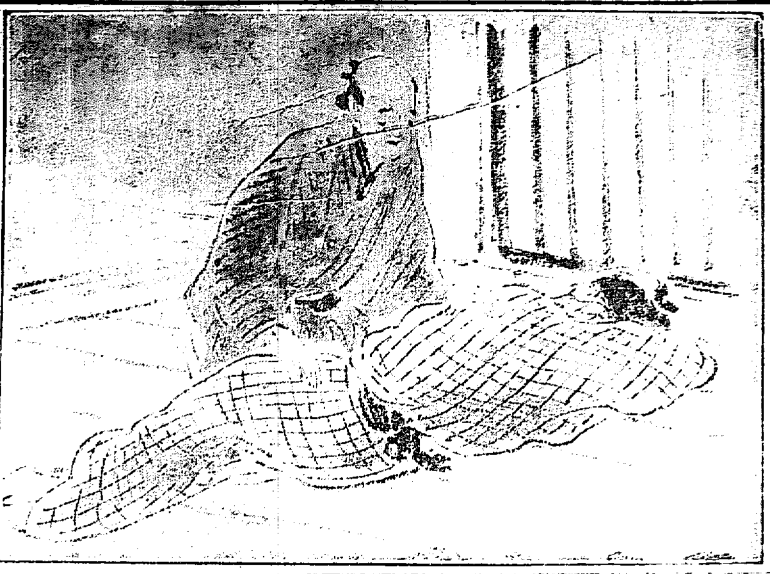
內科小兒科 小林醫院
京城旭町一丁目
入院隨意(普通病室並に隔離病室)
醫學士 小林千壽 電話六九二番

左甚五郎

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

第百十九席

甚五郎は茶代を置いて出て來ると、先へ出掛けた一同の職人衆ワア〳〵云つて並木へかゝつて參ります。甚『オイ勝』勝『エー』甚『こんな掘出し物をして來た見ろ』勝『何んでオー異黒な根付けだ。棟梁幾何で買つて來たので』甚『二分よ、安いじやアねえか』勝『何に二分、たつた一つで』甚『然うよ』勝『高い物をまア棟梁買つて來た。こんな物はお前さん百か五十で買へる、こんな物を二分なんてね』甚『ダカラ貴樣なぞは目があつたつても節穴同樣、何んの爲に附けて居るんだか判らねえ、能く見ろ、何と何うも旨く出來て居る、般若、岡女、翁に鍾馗、裏を返して見ろ外道がある、此の顏が一つ〳〵違つて居るに何うも活々として居るが、裏の外道を見ろ、勝汝の面にそつくり似て居らア』勝『冗談云つちやあ叶けません、其癈物に似て居て堪るものじやアねえ』と名人は違つたもので此時に七つ面を買て置いて是が後年役に立ちました、ですから總て名人には油斷の無いものでございます。是から大澤今市、鉢石から日光、日光の大門前柏屋佐兵衛といふ宿屋へ乘込んで參り其の夜は甚五郎を始め三十六人の職人衆大酒宴をしてワイ〳〵騷ぎ皆〳〵曉方近くまで飮で睡てしまひます。甚五郎は主を招んで暫くお前の家に逗留するからと聞いて主の佐兵衛は大いに喜び、甚五郎以下の者を大事にいたして居りましたが、甚五郎は是から桑原遠江の許へ御殿の挨拶に赴きまして、愈々御普請に取りかゝるといふことになりました。大久保彦左衛門は甚五郎を出立いたさせて直に登城をいたし此の事を家光公へ申上げました故、將軍家は悉くの御滿足、それに就て天井壁畫を認める爲に當時高名の狩野等信を初め其他有名の畫工が彼の地へ行つては居りまするが、茲に又彦左衛門の推擧によつて長谷川派の宗也、信春といふ兄弟の畫工を日光へ遣はされました。此の長谷川派と申しまするは此の兄弟の父長谷川等伯より起りましたもので、此の人は加賀國金澤に數代連綿として染物商を營む長谷川屋長左衛門の次男で金六と申しました者、兒の長藪は父と與に稼業に熱心だが、金六は染物屋を嫌つて暇さへあれば筆墨に親んで畫ばかり描いて居る、それが倦ると大家のことで酒なぞは樽で買込んである、自身出掛けてグイ〳〵引つかける、醉が廻ると何處でも構はず打仆れて高鼾で寢てしまう、然ら意見をしても背入れませんから兩親初め奉公人までが持て餘して居る。○『ヤア困つてしまひますな、又若旦那が此處へ往れてしまつた、さアお起きなさいよ、先刻大旦那が何處へ行つたかと捜してお在なさいました、如何に酒が身を喰ふとは云ひながら道際な所なぞへ寢てしまふとは何んといふことでございます』『何を云つて居るんだ』松『どん〳〵若旦那が此處へ來て寢てしまひなすつたんだ』金『仕樣がないね、大旦那もそんなに酒は上らないし兄さんだつても飮まないのに何うだらう』松『何うして然う[illegible]』と奉公人が二三人暖をいたして居ります。處へ通りかゝつた主人の長左衛門、ヒヨイと見るとあらうことか取亂して金六が板の間に寢て居ります、長『又頭麼處に寢て居るか、仕樣の無い奴だ』松『あゝ叶けたい、大旦那樣に知らせまいと思つたがとう〳〵お目に觸れてしまつた』長『仕樣の無い奴だ、皆な手をお貸し、這麼處へ寢て居ては叶ない』と奉公人の手を借り已れの居室へ伴れて參り蒲團を敷て寢かして置きましたが、此方は白河夜船何があつたか少しも知りません



鯨問屋 香月商店
東洋捕鯨株式會社特約販賣店
京城明治町二丁目

高麗人蔘エキスは
品質の純良を以て多大の信用と賞讃を博しつゝある
京城府明治町一丁目 小笠原大藥房
電話一九四八番 振替京城三七五三番

十二月廿二日九星
舊十一月八日戊戌 本命八白 良 開 赤口
[illegible]

てんかん
病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れ永年の病も自宅でヒミツに治療す事が書た詳しい本を無代進呈す
名古屋市南小川町一 救生館

高峰博士發見の高貴藥アドリナリンを主藥とす
十錢 廿五錢
東京室町 泰昌製藥株式會社

演藝案内

本町五丁目 稲荷座
博多笑劇松葉屋組一座 十二月十二日より
▲一番 妙な親分 ▲二番 教育劇 間當り ▲三番 餘興文人手踊 ▲四番 義俠の藝者
[illegible]

有樂館
[illegible]

明治町二丁目 浪花館
電話二六〇番
[illegible]

黄金館
電話三六三七
[illegible]

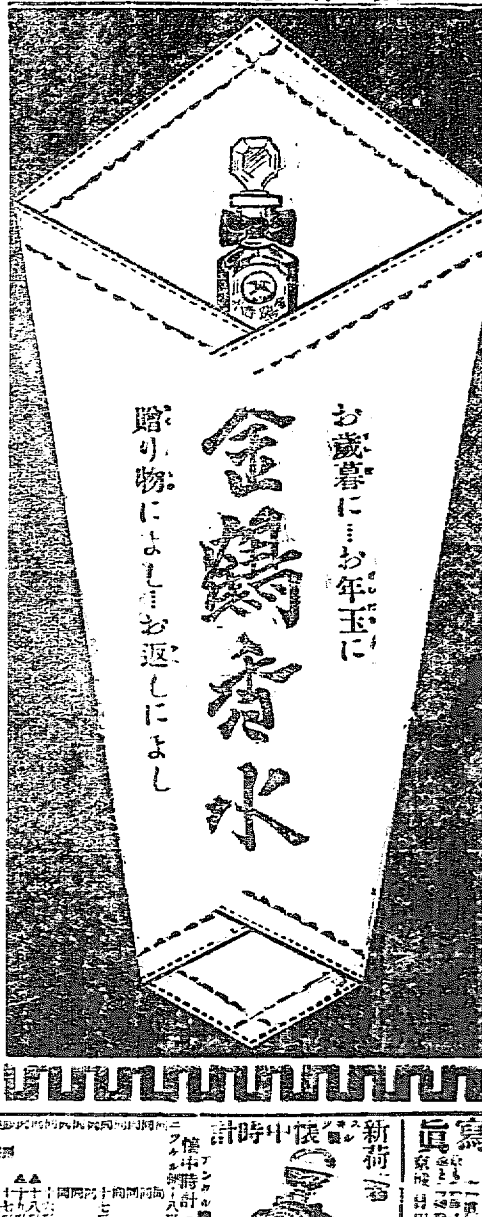
壽町 大正館
電話八七三
[illegible]

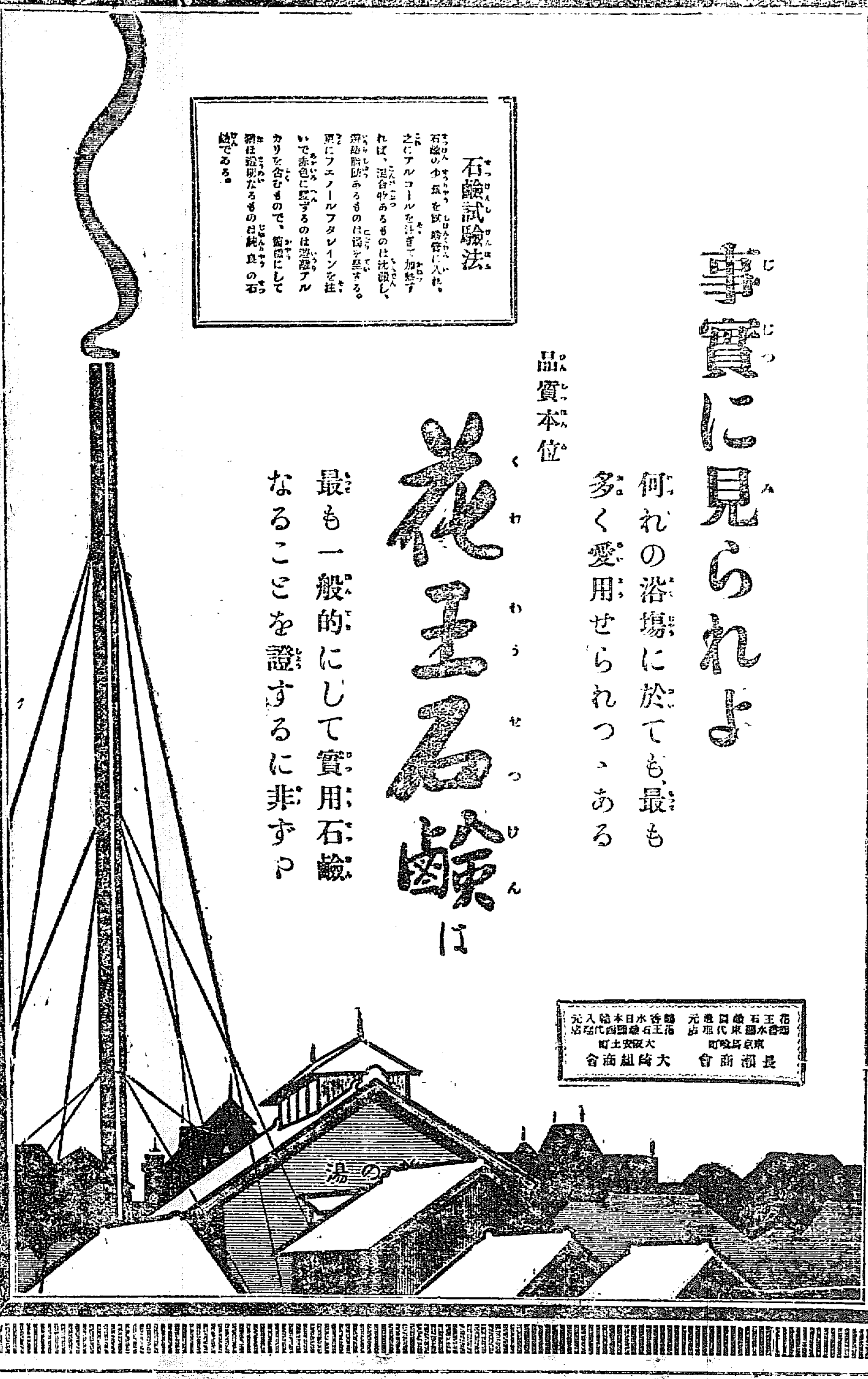
法人登記公告
水原地方金融組合登記事項中六年拾壹月貳拾九日京畿道[illegible]面[illegible]里七百五拾番地沈[illegible]監事就任
右登記す
大正六年拾貳月拾貳日
京城地方法院水原支廳

軍隊毛布
必ず買い遅れて後悔する勿れ
先頃來本社が提供せしロシア軍隊防寒用毛布の破格物在庫品眞に僅か八百組となり決算部合上是非年内に賣放したし良大判二枚揃一組(無類)原料節なる二圓九十五錢で御注文に應すれば此際至急(ハガキ)で申込あれ受付順に引換郵便で發送す普通の店で五圓以下で買ぬ品用品也
東京神田 東京織物仲繼店 振替東京七三四六番

胃つぎ治療
明治町ふらんす飲料館
京城仁壽堂 電二五九五番

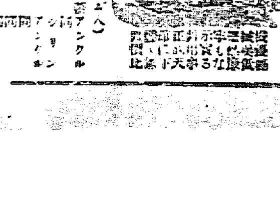
十二月二十日より三十一日まで
夜間營業仕候
本町
三越呉服店





石鹸試驗法
石鹸の少量を試驗管に入れ、之にアルコールを注ぎて加熱すれば、混合物あるものは沈澱し、遊離脂肪あるものは濁りを呈する。更にフェノールフタレインを注いで赤色に變ずるのは遊離アルカリを含むもので、無色透明なるものは純良の石鹸である。

花王石鹸香水日本發賣元 東京馬喰町 長瀬商會
元賣捌店 大阪安土町 大崎組商會

新荷着 懷中時計

[illegible]
イングレツソル商會
本店京城本町二丁目 電話九七二番

寫眞
[illegible]

京城日報

二十一日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

支那政局

過日支那内閣更迭あり、新内閣は南北妥協を實行すべく組織されたるに拘はらず、其事毫も進捗せずして、今や武力解決の聲望を挟むのみならず、馮總統王總理段祺瑞氏との間に交渉往復頻々、或は王氏辭職し、再び段氏の内閣組織を見るべしと揣摩するものあり。

過般段内閣の瓦解したるは、馮總統の系統に屬する大官が、段氏に離背したるが爲めなりと云ふも、更に立ち入りて云はゞ段氏が南方に對して、武力解決策を取れるに拘はらず、南征軍脆弱にして其用に堪へず、數ば失敗を招きたるに起因するに外ならずして、武力解決は則ち跟歴の策なり。威服政策を誤るものにして、其の實力に伴はざる所あるときは、必ずや失誤 [illegible] 而して今や南人 [illegible] に足らざるを知る。是れ其の要求甚だ大にして、北京政府の妥協に專らなるを以てして猶ほ其交渉を離かる所以にして、今日の馮統と王總理とは、進みて武力解決を行ふ能はず、退いて妥協を行ふ能はず、前跋後疐の窮地に立てるものと云ふの外なし。最近馮王段三氏間の交渉の内容の詳細は、未だ之を知るを得ざれども、其事體は則ち必ずしも知り難しとせず。

併しながら支那の南北は、不思議千萬なる關係の下に在り、今日北京政府の兵力は甚弱なりと云ふも猶ほ南方に比すれば遥かに優勢なるや論なく、若し直隷、安徽諸勢力渾然一致して進まば、南人復た遂に自ら支ふるに由なからむとす。且南人如みて獨立を説くも、支那を離れて一國家を形くるといふにあらずして、其實は南北相獨立するも猶相依りて一大國家を成して以て自ら全くせむとするにあり。故に南北は結局妥協を以て其局を結ぶべしと雖も、只其方法手段と時日とは、今逆じめ踏る能はずと云ふのみ。

夫れ支那は、革命以後既に幾年月を閲して未だ憲法も國會もこれ有すといふ憲體なり、其國民自らの不面目なるを知らば、斷圖一 [illegible]

支那漫遊

蘇峰生

虎邱と天平山

[illegible]

留園と寶帶橋

[illegible]

朝鮮古墳の變遷（十八）

八木奘三郎

古墳の外形と其起源（承前）

[illegible]

詩壇

[illegible]

こうして（二十）

布施生譯

[illegible]

定價 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 [illegible]

◎見よ!!勤王精神淵源の開發!!

日本帝國王政維新の偉業は二千六百年の歴史を通じて、純六の意義を含有し、最高の理想を捧持し、大和民族が遂に世界的發展の壯圖を遂ぐるに至る第一歩たりと謂ふべし。今や明治聖代四十五年間の進歩を經來り、光彩赫耀たる大正新時代の劈頭に於て、此の絶大最高の偉業に對し、其の事蹟を闡明し其の意義を探究し、其の理想を發揮し、王政維新史を完成して之を後代に貽すは、現代國民の自ら任ずる重大なる任務たらざるを得ず。此に於て乎、維新史料の世に發表せらるゝもの甚だ多く、勤王精神の淵源本宗として天下の憧憬崇仰を集めたりし水戸藩の史料が、未だ整然たる完備の形體を以て公表せられざりしは學者の常に深く遺憾とする所なりき。然るに幸ひに徳川侯爵家の允許を受け、玆に本書を上梓し之を江湖に頒つの光榮を有す。抑々本書は水戸徳川家が明治天皇陛下の叡旨を欽し特に專攻の學者文士を聘して編修所を設置し拮据黽勉前後十有餘年を經て其稿を脱し明治卅六年五月初めて之を乙夜の覽に供したるもの、其の蒐集の完備と研鑽の透徹と固より遺憾の點を要せず、思ふに本書が現代の教化に貢獻する、殆んど測知すべからざるものあらん、有志有力の諸君子幸に本書弘布の爲に一臂を供されんことを切望懇請の至りに堪へず。

（東京、大阪、京都市内に見本を配本す其他の地方は運搬費御自辨のこと 内容見本あり郵券四錢送付あれ）

徳川侯爵家御藏版

水戸藩史料

頒布部數五百部限　實費金參拾五圓

全五冊全部完成　總紙數四千八百頁四六二倍判　總布製大金附金文字入美製本

看よ 本書內容目次の一斑 看よ

上編乾　上編坤　下編　別記上卷　別記下卷

[illegible]

發行所　東京京橋區新榮町五丁目三番地　合資會社 吉川弘文館　振替口座東京二九四番　電話京橋二九四番

頒布所　水戸藩史料頒布所

一手特約　大阪屋號書店

休戰新條約
露土戰線及び海軍飛行隊にも適用＝船艦攻撃停止

維也納に於て發表せられたる露獨休戰條約全文に依れば休戰期間は十二月十七日正午より明年一月十四日正午迄にして亞細亞に於ける露土戰線上にも之が適用し現在の戰線に配置せられ居る軍隊は此の條約署名當時既に其の移動開始せられたるもの丶外之を增加又は移動せざる可し。兩交戰國士卒の交換新聞に關する條件を規定し武裝せざる者二十五名以內にして一時に集合したる場合には日出より日沒に至る時間を限り或る指定の場所に於て會合することを要す。[illegible]物品の賣買を許容すと同休戰條約は黑海及び波羅的海に於ける海軍飛行隊にも適用され商船及び軍艦に對する攻擊を停止すると同時に露國政府は能ふならば聯合國側海軍をして右兩海にて露國と同樣の行動に出でしむる事を保障す可し。七組の休戰委員は休戰條約細目を實行する爲めリガ、ドウインスク、ブレストリトウスク、ベルヂツチエフ、コロズワル、フオクサニ及びオデツサにて會合す（倫敦電報）

確實に聖地占領

土耳古軍は十二月八日エルサレムより撤退し英軍は十一日同地を確實に占領せり（倫敦電報）

敵飛機倫敦襲擊

十八日夜倫敦は敵の飛行機隊の襲擊を蒙り爆彈を投下せり（倫敦電報）

東部獨軍旋回す

獨軍は續々東部戰線よりフランダースに到着しつゝありと報ぜらる（倫敦電報）

支那兵領事館保護
露兵廢止さる＝物情騷然たり

當地露國領事は領事館保護の露兵を十九日限り廢止し支那兵を以て保護せしめ居れり之過激派と反對の態度を示せるなり十九日支那は哈爾賓へ砲兵及び機關銃隊合せて三百名を大砲機關銃數門と共に東清列車にて輸送せり物情益々騷然たり（長春特電）

吉林兵續々輸送

東清鐵道長官ホルワット氏は過激派の逮捕を遁るゝ爲官舍に入り支那官憲に對し必要あらば何時にても露國租界に出兵せんことを要請したれば吉林より更に多數の軍兵を輸送しつゝあり（北京電報）

陸軍革命委員會

哈爾賓勞兵會はリューチン、スラウイン、ブサノフ、アリショーフ、ベルチエフ、ニューストフ等の過激派委員を以て陸軍革命委員會を組織し北滿一帶に亘り橫暴を逞しくせんとする形勢顯暴なるに依り露西亞領事其他官憲は之を憂慮し支那兵の警護を受け居れり（大連特電）

東清鐵道員左袒

東清鐵道從業員亦た革命派に左袒の傾向あり萬一事を擧ぐるに至らば鐵道運輸杜絕[illegible]

陸榮廷和議交涉

陸榮廷氏は龍濟光氏の蹶起[illegible]

黎天才獨立宣言

[illegible]五十八點にて當選せり（北京特電）

議長那彥圖氏議長席に就き全院委員長の選擧を行ひ劉恩鴻氏[illegible]（長沙特電）

不思議極る命令

哈爾賓より[illegible]の東清鐵道守備兵を解散す可く哈爾賓軍管區司令官サムイロフ氏より十九日夜寬城子守備隊に命令し來れりサムイロフ司令官は過激派に非ざる此斯くの如き命令は不思議なりとて目下問合せ中なるが若し解散せんことなれば之等の兵士は過激派に趨り混亂一層大となる可し（長春特電）

謠言盛に行はる

哈爾賓に大騷動起る可しとの謠言盛に行はれ居れり（長春特電）

米國禁酒案可決

米國議會は禁酒憲法修正案を可決せり同案が[illegible]以上の批准を經るを要す（紐育電報）

[illegible]重要なる會議を開く筈なし（大連特電）

閔長官陞敍

閔丙奭
[illegible]閔長官陞敍の御沙汰ありたり

松川軍司令官

松川軍司令官は二十二日午後九時來安二十三日より義州新義州の守備隊の檢閱を爲す豫定なり（安東縣特電）

鮮銀總裁着奉

美濃部鮮銀總裁は二十日午後錦里より自動車にて來奉即日歸京の途に就けり

加藤局長來安

關東都督府[illegible]

平塚正金支店長

[illegible]正金銀行支店長は[illegible]の爲め約一週間の豫定にて十九日午前十時大連に向へり（奉天特電）

前田領事官補出發

[illegible]新任領事官補前田[illegible]氏は二十三日東京發二十一日[illegible]の豫定なり（奉天特電）

英大使館員通過

[illegible]ドン氏夫妻は二十日午後六時半奉天經由北京に向け安東縣を通過せり（安東縣特電）

金融機關整備計畫（下）
金融組合中樞機關設置 地方銀行設置許可方針
度支部長官 鈴木穆氏談

[illegible]の抑想としては、地方金融組合は素と其名の如く地方小農の金融機關として設置されたものであるが之を

▲小商工業者 にも及ぼしたいのである。想ふに小商工業者に取りては、此種信用組合の必要は、地方小農に比し一層切なるものがある。故に都會にも設置したい、而して庶民銀行の如き働きをさせたい、以て『銀行は資本家の金融機關である』といふ譏りを除きたい、更に予の理想を云へば、信用組合等經濟機關は人民の經濟思想發達の狀を察して、成るべくは自治を行はしむるが可いと思ふのである。彼の獨逸の產業組合、獨逸の制度を採用して最近十年來異常の發達を遂げたる伊太利の同組合が、如何に國家經濟の[illegible]

▲進展に貢獻 しつゝあるか[illegible]大に考慮に加ふべきことであらう。以上は金融機關の改善と稱すべき事項であるが、將來地方小銀行設立の出願も殖ゆることゝ想像されるが、內地の例に依るも此の濫設は往々弊害あり、且つ其の破綻が財界恐慌の原因を作すこともあるので、相應の資本を以て、土地の狀況が其の設立を必要とするものは、無論之を許可するが、否らざるものは許可しない方針である。斯の如く金融機關の整備に對する計畫が實現されるものとして、幣制の整頓も亦

▲一問題たる を失はない。白銅貨の濫發に依りて極度に攪亂されたる舊韓國の貨幣は、併合以來之が回收に勵め、今日では一通り片付いて來たが現に支障なく流[illegible]

補助貨大體緩和
小額補助貨供給の準備
近く二十五萬餘圓撒布
有賀理財課長談

[illegible]

▲六十萬圓 [illegible]

▲五錢切手を [illegible]

▲小補助貨の 需要を充た[illegible]

北鮮と船賃
寧ろ船腹不足難

[illegible]

技術官會議

[illegible]

軍司令官動靜

十九日平壤に著せる松川軍司令官は[illegible]

湖南博士講演

十九日夜入京せる京大教授文學博士內藤湖南氏は二十日午後四時京城俱樂部主催の講演會に臨み四時三十分より同所に於て支那觀察談を試み現下支那に於ける政治、軍備、道德、教育等各方面に涉り其の[illegible]

南京國會設置運動

南京の民黨有志は上海の民黨と共に南京に國會を設置せんとする運動を開始し切りに李純氏を說きつゝあり此の運動は廣東及び雲貴の有志にも連絡あり李純、陳光遠兩氏の贊成あれば直ちに成功せん（上海特電）

閔長官東上期

[illegible]

參謀長出張延期

[illegible]

龍山の軍隊歡迎

[illegible]

人事消息

[illegible]

▲金浦警察署管內[illegible]

癩病豫防補助

[illegible]

歲暮の最適品
御砂糖
上袋入砂糖切手
砂糖 御砂糖
京城本町一丁目 電話七一一番
澁谷商店

尾琴屋の造花
造花の技術の巧妙なることは他に比類なし
朝鮮の造花王 京城明治町 尾琴屋
年末年始の贈答に最も適當なるは

片山質店
業務親切 倉庫完全
勸業貯蓄債券高價買入

品質本意の良菓
△カステーラ △三色羊羹 △衛生菓子 △生菓子 △勸題菓子
郵便御菓子切手
京城本町二丁目 永田亭

春川支廳 公告

遞信局 [illegible]

長編講談
寬永三馬術
博文館

最新刊（27）
續刊 28 小金井小次郎（近日出版）

時計及蓄音器卸商
喜多金光堂

春陽堂發行
新案 當用日記
▲用紙純良 ▲附錄完備 ▲舊曆九星 ▲體裁善美 ▲携帶至便 ▲折返表紙
東京日本橋通 春陽堂

新著荷大賣出し
クリスマス裝飾品一式
教育玩具歲暮御贈答品一切
教育玩具卸 裝飾品一式
京城府明治町二丁目
吉岡商店

眼鏡專門
レンズ精撰 技術精巧 品位確實 價格低廉 親切勉强
京城南大門通一丁目二二番地
宮川大學堂

謹告
例年の通り
忘年會新年宴會、御正月重詰其他御料理御好に應じ可申候
右不相變御用命仰付被下度候也
京城南山町一丁目三番地
會席御料理 松葉亭
電話二二三五番

[illegible]を以つて速かに[illegible]を要求し來れり……を某所に打電し來れり（北京特電）

◎全院委員長選擧

支那參議院は十八日開會[illegible]

……天才氏は十日獨立を宣言せり（漢口特電）

◎漢江結氷狀況

▲楊平憲兵分遣所管内　去る十四日結氷し交通杜絶せりされど未だ渡渉する程度に至らず

▲長湍分遣所管内　臨津江は未だ全部結氷するに至らざるも近來の寒氣にて流氷多く航行危險なるを以て航路全部杜絶せり[illegible]に於ては來る十七八日頃迄には全部の結氷を見るに至るべき見込也

▲加平分遣所管内　本月七日以來の寒氣の爲め結氷し十四日に至り[illegible]間の如きは零下九度を示し爲めに結氷し長湍郡汶山間の渡船は杜絶せり結氷未だ交通可能の程度に至らず

[illegible]一道三府四十三驛の豫防費に對する六年度分補助金六萬九千十七圓（平均一驛當一千二百八十[illegible]）算に對する[illegible]年の約六倍となる筈なり、明年度より多額の補助金を交付するに至れるは近年[illegible]の撲滅を期するに努むる[illegible]（東京）

◉初春の腕試めしに

▽銃獵家は準備に餘念が無い

二十八日から御役所向きは休みになつて正月に入つても多少の休み日が續く爲めに、腕に覺えのある連中は手ぐ脛を引いて早や銃獵の準備に餘念がない、先づ其の人々の噂を聞くに

▽京城の近間　とあれば京元線全谷驛（議政府の直ぐ次ぎ）が最も雉がゐると稱せられ、此處には朝鮮人の宿屋ではあるが日本式の夜具蒲團も準備されゐる泊り場所がある、而かも御誂向きな日本酒もあつて少し固いのを我慢すれば牛鍋の御馳走に

▽舌鼓を打つ　事が出來る、而かも一泊御一人五六十錢とあつて牛鍋に二十錢も張込めば好い、其れで多少の御茶代を奮めば宿屋の主は大喜び。夫れから有名の龍城峠、之は

▽水標橋から　自働車で廟石隅里まで行つて此處から降りる、此處には内地人の宿屋もあつて宿料は一泊一圓六七十錢とある之も雉の獵場として知られてゐるが更に轉じて仁川へ出て江華島の側の諸島を巡れば之も可成りに獵物がある。此の間持地遞信局長官の行つた

▽無名の小島　の如きは雉は少ひさいが中々の獲物があつたと聞及ぶ更に京釜線の成歡驛から降りて温陽行きの自働車を利用し洪州附近の山また山を漁るのも面白からう。併し温陽行の自動車は獵犬を乘せる事を嫌ろさうである。又た

▽暇を利用し　て行けば仁川港外約八里の安眠島の如きは極めて獲物が豐富である……安眠……其名からして既に優美であるが、而かも質地は更に夫れ以上で若し夫れ麗らゝかなる初春の陽を浴びて終日す山野を渉獵するときは長閑かな得も云はれぬ

▽春の氣分が　漲つて逃も其の快味は獵者ならでは味ひ得ぬ所であると去る獵通は鼻蠢かして語つた。

◉石塚夫人送別會

京城ホテルに於て愛國婦人會朝鮮支部副長石塚東拓總裁夫人の送別會は二十日午後一時から南山町京城ホテルに於て開催された多忙なる暮であるにも拘はらず五十名に近い同會員婦人連の來會者があり席定まるや大橋幹事の送別辭ありて今回石塚夫人の京城を去られる事は獨り朝鮮に於ける我が愛國婦人會のみならず京城社交界の一大損失である事を述べ石塚夫人の辭あり食堂に移りて三時閉會せり來會者の重なる向は左の如し

森安貞子、松永芳子、京口貞子、淵澤能惠子、古海はな子、國分峰子、朝倉光子、佐々木森尾子、峰尾錦子、坂いち子、久水和歌子、持地まさい子、住永秀子、深澤稍子、小田稍子、本岡りう子、佐藤れい子、三井谷次、渡邊秋江子、川俣ゆき子、渡山京子、木本みち子、内ヶ近子、今村千枝子、入江安野子、芳賀きわ子、[illegible]永千代子、小原六子、荻田近子、和田茂子、[illegible]及稍子、金谷安子、中村一せ子、山田文子、山口鶴子、和田[illegible]子、村田滿子、龍岡夫人、足立夫人、有賀公子、山縣きく子

▲石塚夫人送別會　＝二十日京城ホテルにて＝　送らるゝ石塚夫人（下）

◉龍山に氷滑場

▽京城倶樂部で新設

京城倶樂部では今度龍山軍司令部前にある一千六百坪の大きな池を利用して其の周圍に柵を廻らし食堂を設け其の氷滑場に充てたが既に開始してゐるが、會員外の者と雖もスケートを行りたい希望の人があれば誰でも一ヶ月一圓の會費で毎日でも通ふ事が出來る、夫れのみならず其所には番人がゐるから番人に頼めば一日十五錢で誰でも構はず行らして呉れる、さうして番小屋には湯茶を備へ又た簡單な飲食物も賣る事になつてゐるから、希望の人は隨時に行くが好からうとの事である、毎日午後四時半より夜の十時まで日曜は特に午前十時より同十時まで行つて差支へない、夫れに夜は千燭光の電燈が三箇所まで點いてゐるから定めて明るい事であらう

◉世界の珍鳥三千の剝製

▽採集に餘念の無い黒田侯の令嗣

黒田長成侯嗣子長禮氏は理學時に鳥類の研究に熱心である同邸を訪ふと長禮氏は語つて曰く『今迄に集めた鳥類の剝製は三千に達しませう朝鮮、滿洲、臺灣等のものは重に自分で射つて來ました内地では

◇日光函嶺　富士の裾野が重で其他四國の香川、北國の青森方面を廻つて集めました日光には岩燕佛法僧などが珍らしく富士の裾野では虎鶫、二三合目には岩雲雀が居ます朝鮮には色々居るが世界的に得たのは鴨の一種で冠ツクシ鴨といつて鴨の頭に小さい垂れた冠を戴いて居るものです是は未だ

◇世界に無　いと思ひます其他五六種珍らしいものを得ました』と話は夫れから夫へと移つて朝鮮の話やら小笠原島にマシゴといふ鳥が居たものが今は絶無となつたさうで同島には是非渡つて見たいこと[illegible]南洋から『[illegible]』といふ鳥を得たとや更に世界の鳥類學者の話があつてから邸内裏手の

◇二十疊敷　ばかりの剝製室へ招かれた室内には四個の大きな剝製戸棚の中にギツシリ大小の剝製の鳥が滿たされ四邊の引出棚にも學術用の鳥類がギツシリ並んで室内は防腐劑のナフタリンの臭氣が鼻を衝く『まだ／＼得やうと思へば五分の一にも足りません更に暇があれば内國は勿論

◇外國へも　行つて聚集したいと思ひます備出來れば動物類も集めて研究したいと考へて居るが是れは却々困難のやうです』と（東京）

◉露人二名馬賊に殺さる

阿片を奪ひ火を放ちて逃走

十九日午後十時長春東公園附近露國人方に馬賊闖入し薪割を以て二名の露人の頭部を亂打し一名は即死し一名は重傷を被り二十日朝死亡せるが報に依り我警官驅け付けたるも賊は逃亡後にて家人全滅せるが故に其の眞相詳かならざるも附近の者の話に依れば賊は馬車二臺を門口に待たせ三名の支那人に依りて演ぜられたるもの丶如く賊は阿片を奪ひ逃亡せる形跡あり又は逃亡の際其室内に火を放ち我警官の驅け付けたる時は室内は兩人の鮮血一面に漲ひ黒煙漲り居たるを漸くにして消し止めたり同夜直ちに非常線を張りたるも未だ犯人逮捕に至らず（長春特電）

◉陶庵侯を脅かす

＝貴賓館に放火すと貼紙して＝

靜岡縣興津町水口旅館方玄關に十六日夜『火を放ちて貴賓館を燒き拂ふ可し』との貼札を爲せる者あり同家には西園寺侯避寒の爲め潛在中の事とて警察にては犯人嚴探中なり（靜岡特電）

◆傳染病患者から來た手紙

▲▲充分消毒して開封せよ

痘瘡患者から來た手紙は十分消毒の上開封せねば危險だと前提しつゝ矢野通信課長は語る、此頃長崎に一人の痘瘡患者が出た醫師が

▽其の病源　やら系統やらを色々檢診した結果其の患者は痘瘡の流行る印度の某地方から手紙を受けとつた事が分り多分其の手紙に痘瘡の黴菌がついて來たのであらうと云ふ事に一致した、之れと同じやうな話しが英國にもある、英のウエストブロムウイッチと云ふ所の

▽痘瘡病院　に入つてゐる一人の患者が病院から其の妹に手紙を出した、所が其の手紙を受取つた妹は間もなく痘瘡を疾んだので手紙が痘瘡菌を媒介したのだと云ふ事になり一時英國で此の噂は大評判となつた、それに就て思ひ出すのは一千八百九十三年獨逸のドレスデンで開かれた萬國醫學大會である

▽同大會で　傳染病の豫防と郵便物に就き討議をした結果、小包郵便物は危險いが、小包以外の郵便は傳染病菌の傳播をなすまいと云ふ事に一致したしかし上述の二例は此の醫學大會の決議を正に裏切つてゐると云つて宜しい、乃ち罹り痘瘡患者からのみならず傳染病患者並に其の流行地から來た郵便物を受取る時は十二分の注意をする必要がある

◉京城に凍死者續出す

近來寒氣酷しきため京城市中には行倒れて凍死するもの續出し十九日午後一時頃には太平通二丁目に住所不定の李思徳（五〇）が死亡し十七日午前一時頃には住所不定の車臨茧（七）が芳山町の砂山なる乞食小舍にて凍死し居るを發見せり又昌城洞韓永祚（五九）は十九日午前三時頃凍死を遂げたり

□年賀郵便物の取集

京城郵便局區内に居住する者にして一時に多數の年賀郵便物を差出される向は京城郵便局（電話一番）へ通知すれば集配人を自宅に差向け取集めらるゝ由なれば一日も速に差出す方相互の利便少からざる可し

◉漂流漁夫七名を救ふ

慶尚南道欝陵島村渡邊正一（三）渡邊富逸（二）外二名の内鮮人漁夫四名は十八日釜山より加德島沖合に出漁中風波の爲め船體顚覆し船底に縋りて漂流中折柄航行の朝郵汽船海州丸に救助されしが海州丸は同日牧の島附近を航行中又も漂流漁夫三名を救助せり

◉十六棟の全燒

江原道扞城郡西面士郎里玄景德方より十二月八日午後十一時頃出火し折柄の烈風に火は忽ち部落に延燒して十一戸十六棟を燒き拂ひ翌午前四時三十分鎭火せり損害約二千六百二十圓火傷者三名を出せり

◉偽醫師の詐欺

忠南大田郡杞城面槐谷里尹相翼（三八）は本年十月十二日頃全北扶安郡白石面河清里金京天方に到り在釜山米國赤十字病院の醫師なりと詐稱し同人の叔父金禹容の癩病及び其の父金玟容の皮膚病に罹り居るを見て賣藥にて治療し與ふべしと欺き二十圓餘を受け取りたるを手初めに同樣手段にて外數名よりも詐取したること發覺して大田警察署に檢擧され大田支廳にて懲役八ケ月に處せられたるを不服とし京城覆審法院に控訴せり（大田）

贈答品は

優美なる漢陽高麗燒種々

大好評の明太魚カラスミ

御進物用化粧箱入

三本入　五拾五錢
五本入　八拾一錢
七本入　壹圓拾七錢
十本入　壹圓六拾五錢

京城本町二丁目　海市商會　電話二五〇番・一三五四番

◉電車に衝突

京城鍾路五丁目朴熙容（三）は十九日午後七時頃龍山行百二號電車の救助網に觸れて輕傷を負へり

◉嬰兒殺し

咸南端川郡波道面巷坪里金仁福妻魚行商崔仁三（二九）は本年二月同郡古城里の崔龍南と關係して懷姙し十一月十二日午前一時頃自宅に於て女兒を出生したるも本夫金仁福（六八）に事情を明かすを恥ぢて嬰兒を自宅を距る約三丁の龍城里南方の橋下に投棄して殺害したること發覺して逮捕され咸興地方法院の合議裁判に附せられたり

□德用金製ペン發賣

本社代理部のパインビヂテスペン　本社代理部販賣の『パインビヂテスペン』は萬年筆の如く一度インキをペン尖に浸ますると數十枚の書寫に堪へ得るといふ至極便利德用なる金製のペンなれば事務用に缺ぐべからざる必要品として昨今賣行頗る多し

◉指紋から

木浦温錦洞李蓬萊方金永安（二四）は窃盜犯にて十一月二十二日懲役四箇月を申し渡されたるものなるが指紋照合の結果永安は僞名にて本名金學岩といふ前科三犯ある强者と判明し十七日改めて累犯加重懲役一年四箇月を申渡されたり

◉南大門の朝市を覗て

贈答品の品定め

歳暮の贈答品用に何が好いかと思つて南大門の朝市を覗いて見たの朝鮮人の商人は中に

○機敏な　者になると内地人も内地人の而かも大阪商人すら顔負けをする樣な狡猾な奴もゐる、昔式の連中になると未だ／＼常識では考へられぬ程の物もある。夫れ故押詰ると卷煙草の如きものでも殆んど原價以下で現金ならば賣放つといふ始末であるが、是れは云ふまでもなく金の遣り繰り算段からで商し

○算盤を　採つてゐるものがある。

○日車錢　の如な高利を排ふよりも増であるといふところから割出した資金運用法であらう故に現金で澤山買ふとあれば滅法界に廉いものが手に入らぬでもないとの事である、それは扨て置き同市場を覗いて歳暮年始の贈答品に相應はしいもの丶

○値段を　聞いて見ると、まア乾柿が日本内地へ贈つても好からうと思つた、是れは百個一束で三十五錢から七八十錢まである、それから鷄卵が例の苞入十個二十二錢、炭俵一俵一圓五錢、雉番ひ入十五錢、鴨一羽七十錢

○鯉番ひ　生きたので一圓近く、死んだので五十錢位である其の他は内地人には餘り香んばしからぬ物のみであつた。因みに鮮人買の牛肉は昨今百匁十二錢より十七八錢位である。

年末の贈答品にも正月のお仕度にも

實用品で萬人向きのする

國秩父銘仙に

これならばおきめ遊ばせ

贈つて安心！

贈られて喜ぶ！

どこの御家庭でも

大歡迎!!!

只今きばつて面白い半額割戻し賣出しの外格安品澤山參りました

京城本町　ちとせや　電話八九〇番

品質第一
誠實第一
賣行第一

キッコーリウ

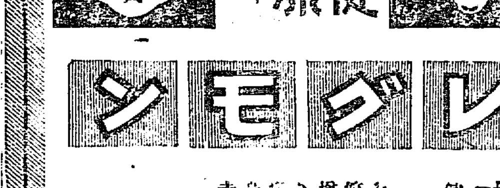
最上醬油

釀造元　仁川港

日本醬油株式會社

京城出張所

京城大平通二丁目電話二四五番



レグモン

衰弱したる人が健康の幸福に入るべき最も容易なる方法は

新滋養劑レグモン

を服用するにあり、レグモンは人體營養の第一要素たる蛋白質の多量と血液の濃度を増し細胞の抵抗力を強め心臓を强壯にすべきカルチウムの適量を含有するが故に病中病後の衰弱は勿論、平素營養不十分にして健康の身體虚弱なる人はレグモンに依つて健康の幸福を得らるべし

全國知名藥舖に販賣す　說明書無代郵呈

定價　一百五入　金壹圓貳拾錢　二百五入　金貳圓貳拾錢　四百五十五入　金四圓五十錢

大阪市東區道修町

一手販賣　武田長兵衛商店

大日本發賣所　登録商標 "PINE"

▲歳暮賣出▼

最高尚なる年末年始の御贈答品

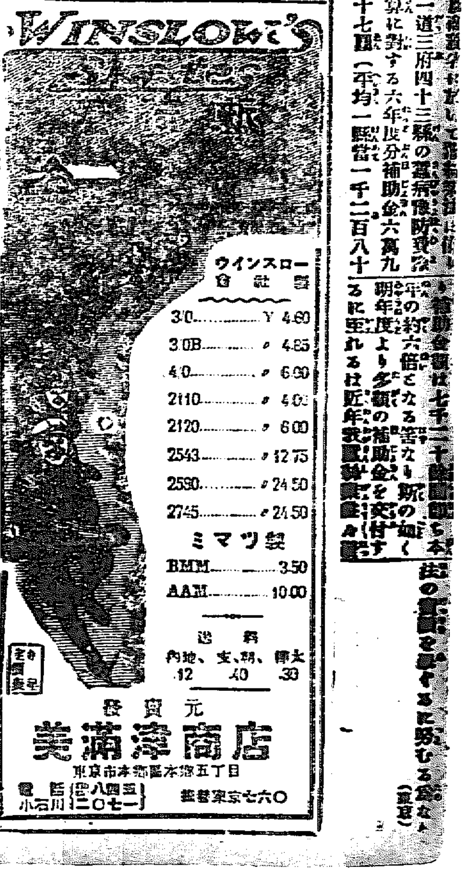
優美なる函入調製▲本年中定價の壹割引

不日金及自然破損は交換状常又は無料修繕

特許既閉防破裝置附

押出式萬年筆　金六圓八十錢
押出式紳士向　金五圓三十錢
インキ止式御婦人用　金三圓八十錢
インキ止式紳士向　金四圓九十錢
インキ止式學生用　金三圓八十錢
パイン學生用　金二圓八十錢

發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部　電話三二六、六六〇構内一八番



發賣元　美滿津商店

東京市本郷區本郷五丁目　電話小石川{八四三　二〇一七}　振替東京七六〇

櫻御殿

大阪　霞の家主人

第百二回　恩と仇（三）

村平は、釆女が小供心に擲ての大望を投げ捨てゝ、小さい恩を報ふ爲め、一生を誤るやうなことがありはせぬかと危んだ

『ようお考へ遊ばしませ、初瀬殿にも御恩があれば、助左衞門殿にも御恩がござります、初瀬殿に助太刀を遊ばす日には、助左衞門様を敵に遊ばさねばなりません』

『何うしたら好いであらう』

『只成行にお任せなされませ、左様な事に煩悶遊ばすと、お身の毒でござります』

『それなら共々助左衞門様の御武運を祈つてお上げなされませ』

『助左衞門殿の武運を祈るは、初瀬様の最後を祈るも同じ事ぢや、そんなことが爲らうか』

釆女は恩と恩との間に挟つて、殆んど身を置くに處も無い窮地に落ちた、初瀬は恩人である、同時に助左衞門も恩人である、恩人と恩人とが意地に由つて、命を爭ひ合つて居る、何方へ付く譯には行かず、また見殺しにすることも行かず、[illegible]ばならぬ大望がある。三方の[illegible]

『併し村平、弱い方に力を添へるは武士の道にあることぢや』

『すると、初瀬様へお助太刀をされまするか』

『見殺しには致されん、わしはお上へお暇を願ふかと思ふて居る』

『初瀬殿を扶けて、助左衞門様をお切り遊ばすのでござりまするか』

『それではお殿どのにも濟まぬのう』

『御意でござります、斯うして毎日御厄介にお爲り遊ばしながら、奥様のお嘆きになるやうな事を遊ばすのは、義理にも道にも缺けませうぞ、右へも付けず、左へも付けぬときは、眞直に中央を行くより他仕方ござりません、わたくしが成行にお任せ遊ばせと申すのはその爲めでござります』

『わしは奥様がお可愛さうな』

に攫まれて、小さい胸に波を立たせる

『お殿殿は不憫ぢや、併し、それへ加擔することは爲きない、初瀬どのに恩はある、けれどそれに報う道は無い、ぢうしやう／＼』と思ひながらその日は終んで、翌日の當直に御殿へ出た

正之は櫻御殿に居た、釆女もそこへ勤務する、さうして交替で退らうとすると、美知姫が呼び止めて

『釆女、近う』と云つた

釆女は御前へ進むと、そこに中老の芳野が居て

『のう釆女どの、近頃に聞くと助左衞門殿は遠國へお越しなされたさうぢやの』と藪から棒に尋ねた

釆女はハッと答へにつまつた

それは助左衞門が病氣と披露されて居るからである

『秘さずにお云やれ、何を云ふても、助左衞門殿の御迷惑になるやうなことはしませぬ、御病氣のお届けは出て居るが、眞實は旅へ出てござらうがの』

『はい、併し……』

『旅の用向きも知れて居る、初瀬どのに意地を持つて、行方を探しに出られたといふでないか』

斯う星を指されては、秘す詞もなく、甲斐もない

『わたくしは一向存じませぬが、[illegible]

[illegible]なではその時お無いでもござりませぬ』

『そなたどの、初瀬殿を見殺しにし[illegible]

『いゝえ、[illegible]みませぬ』

釆女は痛い處を突かれた[illegible]として答へた

技術精巧 (水谷)　京城本町　千代田號印舖　電話九八七番

日報歌壇

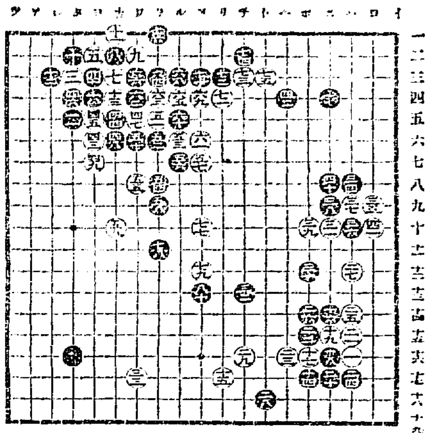
鳥須賀　選

[illegible]

圍碁手合

十一番碁 第二局の四

(三段) 山平晋氏　二子 大久保雅彦氏



自六七は(カの二)黒八の所に續く

新刊紹介

◇忍術の勇士（岡本綺堂）[illegible]

◇ポケット六法[illegible]

◇人一代の道しるべ[illegible]

◇スコブル（一四）[illegible]

◇お歳暮贈答品は何がよい[illegible]

◇王女の舞踏[illegible]

◇掛買帳[illegible]

◇家計簿[illegible]

青木氏宅にて　作太郎

本間　太郎

洋料理 電氣すき焼 ハイカラ丼 とんかつ 南大門通 カフエータイガー

砂糖 其他外材商品各種取扱 千利堂菓子舖

京日案内

代診 希望者履歴書持參 仁川 文局

看護婦見習入用 京城南大門通二丁目 同生堂醫院

商品切手 丸五商會

杉本商店

國光商會

太陽商會

博多屋

吉田屋

姓名在社

最新刊

大斜定石法　府下今名家大斜實戰

大阪屋號書店

百圓進呈　りん病 ばいどく　帝國醫科大學病院

にせ物　大阪有田ドラッグ商會

京城 南大門外停留場通 大阪 ドラッグ商會

廣告　原田金之祐　金谷充

乾隊拂下品　村上商店

天下一品　清酒本舖

インキ製造　櫻井商店

大正婦人湯　ニシタンポン　大正製藥株式會社

貯蓄預金　株式會社長崎貯蓄銀行代理店　株式會社十八銀行京城支店　同　龍山出張所

産科婦人科　京城黄金町　醫學士　二宮亮吉　二宮醫院　電話一二〇一番

タカヂアスターゼ

タカヂアスターゼは高峰博士發見の方式に據り本會社工場に於て製出せるものにして胃腸疾患に對する唯一の特効劑なり

東京室町　三共株式會社

外科 皮膚科 花柳病 小兒科 内科　島崎病院

銚子港　田中玄蕃釀造　ヒゲタ醬油　代理店　京城明治町一丁目　山邑京城支店

眼科專門　金井眼科醫院

釜山出帆廣告

尼崎汽船

共同汽船

朝鮮郵船

大阪株式時值　仁川米豆取引所